



2021年7月29日

各位

住 所 東京都千代田区麹町五丁目1番地1
 会 社 名 芙蓉総合リース株式会社
 代表者の 代表取締役社長 辻田 泰徳
 役職氏名
 (コード番号: 8424 東証第1部)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長 木村 真弓
 電話番号 03 - 5275 - 8891

2022年3月期第1四半期決算の概要等について

2022年3月期第1四半期決算の概要等をお知らせいたします。
 本日発表いたしました「2022年3月期 第1四半期決算短信」もあわせてご参照ください。

1. 2022年3月期 第1四半期決算の概要

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期を上回る実績となり、第1四半期の過去最高実績を更新しています。

なお、当第1四半期から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用していること等により、売上高は減収となりました。

営業資産残高(割賦未実現利益控除後)は、不動産リースや航空機リースの伸長等により、前期末比418億円(1.6%)増加し、2兆5,977億円となりました。

[2022年3月期 第1四半期(2021年4月~2021年6月)の決算概要(連結)]

(金額単位:百万円)

	当期実績	前年同期対比		通期予想
		増減額	増減率	
売上高*	141,578	△37,440	△20.9%	610,000
営業利益	10,976	1,402	14.7%	46,500
経常利益	12,217	1,997	19.5%	50,000
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,991	1,794	29.0%	31,000

*「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、従来の基準で売上高を認識した場合、1,764億円(対前年同四半期増減率△1.5%)となります。

2. 前年同期業績比較（連結）

当第1四半期の業績を前年同期実績と比較しますと、次のとおりであります。

（単位：億円、単位未満四捨五入）

	21年3月期 第1四半期実績 (20年4月～20年6月)	22年3月期 第1四半期実績 (21年4月～21年6月)	前年同期対比	
			増減額	増減率
売上高	1,790	1,416	△ 374	△ 20.9%
売上原価（資金原価除く）	1,566	1,177	△ 389	△ 24.9%
差引利益	224	239	15	6.6%
資金原価	26	25	△ 2	△ 6.0%
売上総利益	198	215	16	8.3%
販売費及び一般管理費	103	105	2	2.3%
うち 貸倒関連費用	6	12	6	92.6%
営業利益	96	110	14	14.7%
営業外損益	6	12	6	92.1%
うち 貸倒関連損益等	1	2	1	148.5%
経常利益	102	122	20	19.5%
特別損益	△ 0	△ 1	△ 0	—
税金等調整前四半期純利益	102	122	20	19.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	62	80	18	29.0%

1株当たり四半期純利益	206.71円	266.37円		
1株当たり純資産（前期末対比）	10,153.22円	10,478.20円		

（注）前年同期対比の増減額および増減率は、表示単位未満を含めた金額での計算結果を表示しております。

3. 営業実績（連結）

当第1四半期の営業実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

〔当第1四半期（2021年4月～2021年6月）（連結）〕 （単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	1,191	1,057	134	14	120
割賦	79	75	4	1	3
リース及び割賦計	1,269	1,131	138	15	123
ファイナンス	57	1	56	9	47
その他	89	44	45	1	44
合計	1,416	1,177	239	25	215

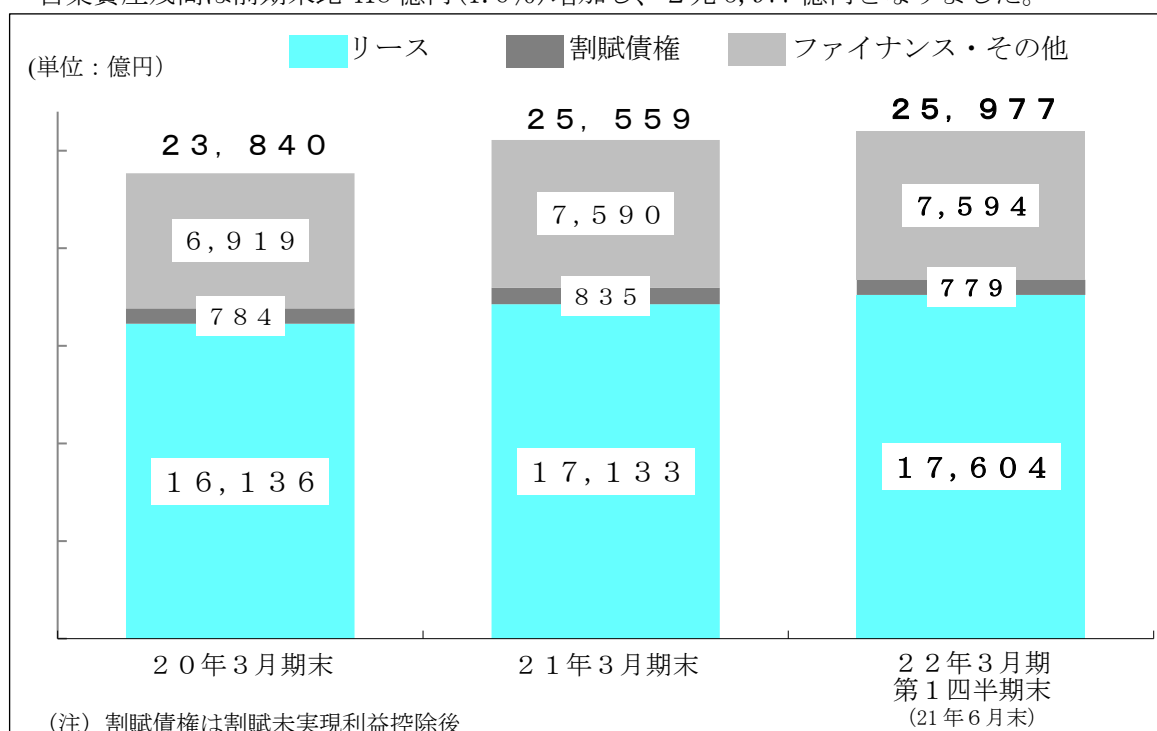
<ご参考>

〔前第1四半期（2020年4月～2020年6月）（連結）〕 （単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	1,167	1,038	129	14	115
割賦	131	127	4	1	3
リース及び割賦計	1,298	1,165	133	14	119
ファイナンス	50	1	49	11	38
その他	442	400	43	1	42
合計	1,790	1,566	224	26	198

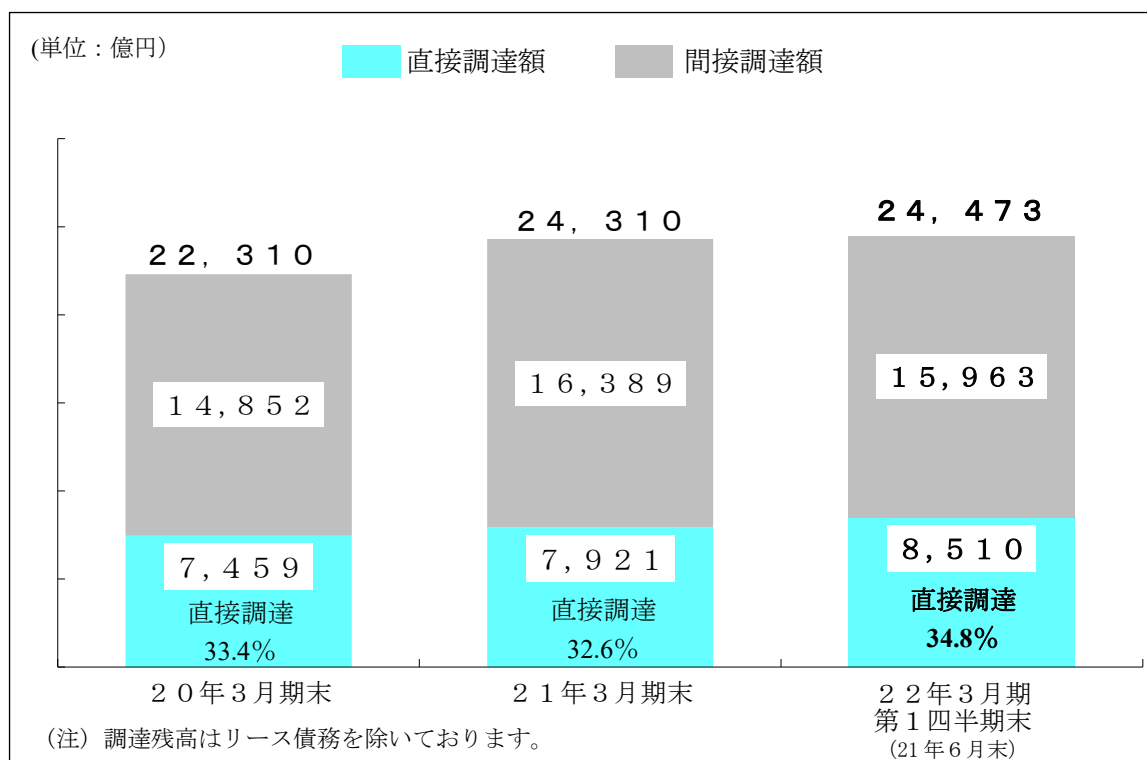
4. 営業資産残高の状況（連結）

営業資産残高は前期末比 418 億円(1.6%)増加し、2兆5,977 億円となりました。



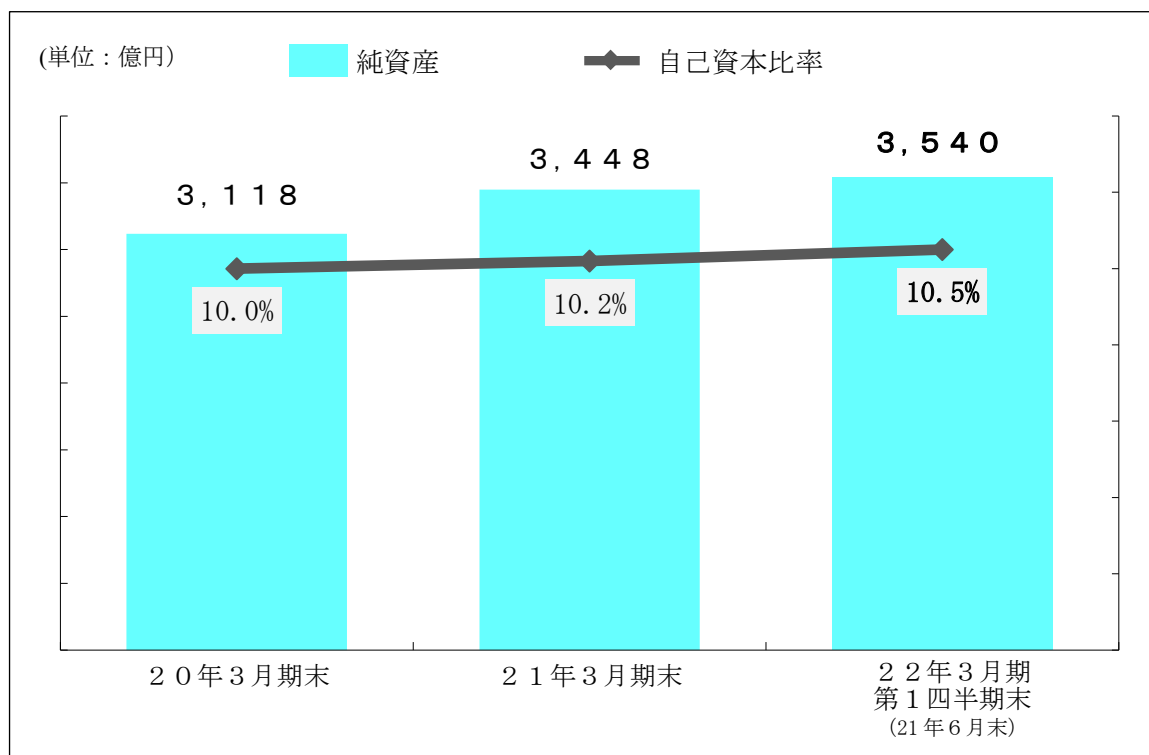
5. 調達状況（連結）

調達残高は、前期末比 163 億円 (0.7%) 増加し、2兆4,473 億円となりました。また、直接調達比率は 34.8%となりました。



6. 純資産の状況（連結）

純資産は、前期末比 92 億円（2.7%）増加し、3,540 億円となりました。また、自己資本比率は 10.5%となりました。



7. 2022年3月期 連結業績予想ならびに配当予想について

2022年3月期の連結業績予想ならびに配当予想につきましては、2021年5月10日に公表いたしました数値からの変更はありません。

(1) 2022年3月期 連結業績予想

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	610,000	46,500	50,000	31,000	1,033円44銭

(2) 2022年3月期 配当予想

	第2四半期末	期末	年間
1株当たり配当金	130円	130円	260円

(注) 上記の業績および配当予想は現時点での予想数値であり、実際の業績および配当額は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上

【ご参考】リース契約実行高 機種別（連結）

（単位：億円）

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期
情報機器・事務機器	446	354
産業工作機械	51	38
土木建設機械	23	7
輸送用機器	85	259
医療機器	51	46
商業・サービス用機器	62	50
その他	511	541
合計	1,228	1,294

<構成比>

